

平成21年度事務事業評価表	担当	消防本部 総務課	内線等	3101
---------------	----	----------	-----	------

事務事業名	消防団訓練指導事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	3.健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	防災	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	市民に対し
手 段	消防団員に訓練礼式を始め、消防用機械器具の取り扱い及び消防操法を指導することにより
成果、目標	消防活動に取り組む姿勢、技術、及び消防団員としての資質の向上を図ることができ、災害時に迅速な消防活動が可能となり、被害の軽減につながる。

成果指標

成果指標名	団員研修参加率	消防操法参加率	
成果指標の説明	研修参加人数/研修対象者人数×100	操法指導延参加者数/操法指導延対象者数	
指標の推移	平成20年度決算(実績)	平成21年度決算(実績)	平成22年度予算(計画)
成果指標	59.80%	63.70%	
成果指標	94.70%	97.10%	

事業の概要

項 目	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
研修日数	3日	3日	3日
研修延参加人数	164人	178人	178人
研修参加対象者数	274人	279人	279人
操法指導日数	46日	56日	46日
操法延参加人数	218名	272名	250名
操法指導延対象者数	230名	280名	230名

事業にかかる人工

(単位：人)

H20 人工計	1.10人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.10人	係長級		一般職	0.95人	非常勤		再任用	
H21 人工計	1.10人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.10人	係長級		一般職	0.95人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	1,225	1,525	1,445
	人件費	6,760	6,635	
	合計	7,985	8,160	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	7,985	8,160	

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	指導は、専門用語、知識、器具取り扱い技術及び災害現場経験を必要とすることから、現行どおり消防職員が行なう必要がある。
-------------	----	--

必要性

必要性	A 市が実施すべき
-----	-----------

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
-----	-----------------------------

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
------	-------------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	団員研修は、1日で全ての分団を対象として実施していたが、1日3つの分団を対象として計3日間で実施したことで、内容の充実した研修ができるようになった。 操法指導は、必要に応じて係全員若しくは2人とした。また、指導機関中はフレックス勤務を導入し、指導員の負担及び時間外手当の削減を実施した。
現在の課題、問題点	なし
今後の改善計画	なし